

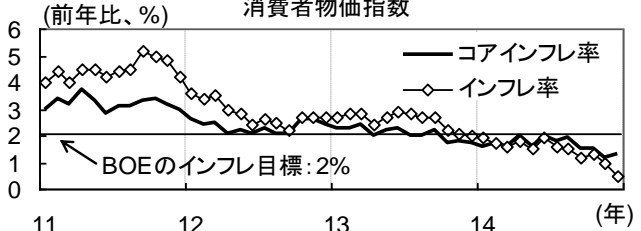
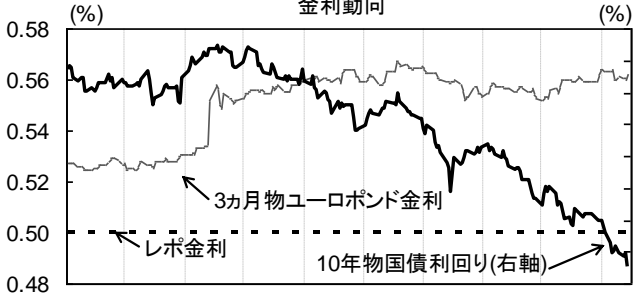
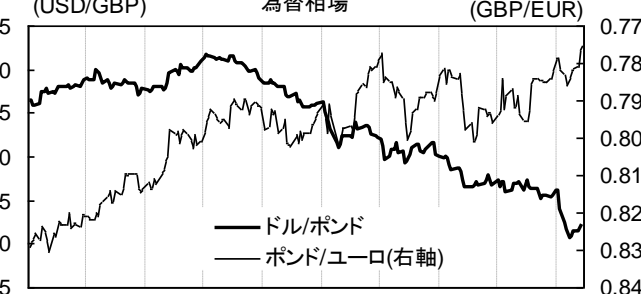
英国経済・金融概況

Main Economic & Financial Indicators (UK)

経済調査室

Economic Research Office

(照会先: ダーベル暁子 akiko.darvell@uk.mufj.jp)

概況	消費、雇用
<p>英国経済は景気の拡大基調を維持している。ただし、牽引役の一つとなってきた住宅部門に減速が見られ始めているほか、ユーロ圏景気低迷による英景気への下押し等を鑑みると、景気の拡大ペースは先行き緩やかなものとなっていく可能性が大きい。</p> <p>第4四半期の各経済指標をみると、鉱工業生産は10月以降2ヵ月連続で前月水準を下回った。先行指標である製造業の購買担当者指数 (PMI) については、9月に1年5ヵ月ぶりの水準まで低下したが、10月以降はやや持ち直し、第4四半期は前期からほぼ横ばいの53.0となった。ただし、1-6月期の平均56.5と比べるとその勢いは鈍化しており、今後、生産の伸びは緩やかなものにとどまると考えられる。また、主要輸出先である欧州経済の先行き不透明感が強く、引き続き生産の下振れリスクに留意する必要がある。</p> <p>英国景気の牽引役となっている個人消費は堅調さを維持している。消費者信頼感指数は、昨年6月以降ピークアウトしているが、その水準は依然高いほか、英国産業連盟 (CBI) による小売業者景況感調査でも引き続き明るい見通しが示されている。また、失業率の低下に加えて、原油安等を背景としたインフレ鈍化を受けて実質賃金の伸びが僅かながらプラスに転じていることなどが、今後の個人消費の下支え要因となろう。</p> <p>一方、過熱気味であった住宅市場では、住宅販売件数や住宅ローン承認件数が減少傾向に転じているほか、住宅価格についても上昇ペースに鈍化が見られ始めるなど、市況沈静化の動きが増え始めている。</p>	<p>11月の小売売上は前月比+1.6%となり、前月の同+1.0%に続き、高い伸びを示した。雇用情勢をみると、8~10月期の失業者数は年初から28万人減の194万人となった。失業率 (ILOベース) は年初の7.2%から8月に6.0%まで低下した後、横ばいが続いている。イングランド銀行 (BOE、中央銀行) は、失業率は2015年末にかけて5%前半半まで低下すると見込んでいる。一方、10月の名目賃金上昇率 (3ヵ月移動平均) は前年比+1.4%となり、前月の同+1.0%から加速した。</p>
	<p>物価</p> <p>12月の消費者物価指数は、前年比+0.5%に鈍化した。値下げ競争による食料品価格の値下がりに加え、原油下落のガソリン小売への転嫁が進んだことが主因。一方、これらを除いたコア指数は同+1.3%となった。</p>  <p>(前年比、%) 消費者物価指数</p> <p>— コアインフレ率 —◇— インフレ率</p> <p>BOEのインフレ目標: 2%</p> <p>11 12 13 14 (年)</p> <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>
生産	住宅市場
<p>11月の鉱工業生産は前月比▲0.1%と、前月の同▲0.3%に続き、2ヵ月連続で前月水準を下回った。北海油田における点検作業等で鉱業が同▲3.7%となったことが影響した。製造業については同+0.7%と増加に転じた。一方、12月の製造業PMIは前月から0.8ポイント低下の52.5となった。生産、新規受注の拡大ペースがともに鈍化したが、輸出向け受注は4ヵ月ぶりに拡大・縮小の分岐点である50を上回った。</p>	<p>住宅ローン承認件数は、昨年1月の7万7千件をピークに減少傾向にあり、10月には6万件を下回った。住宅価格指標 (Nationwide、Halifax) についても、昨年半ばに上昇率が前年比+10%台となったのをピークに鈍化し、直近12月は同+7%台まで伸びが低下した。また、建設業PMIの住宅建設指数は引き続き50を上回っているものの、昨年後半は低下傾向にあり、住宅市場の鎮静化は今後も進むと考えられる。</p>
金利・為替相場	
<p>政策金利：イングランド銀行 (BOE、中央銀行) は 1 月の金融政策委員会 (MPC) で、政策金利の 0.50%での据え置きと資産買取規模 (3,750 億ポンド) の維持を決定した。12 月のインフレ率が予想を下回ったことから、第 4 四半期のインフレ率は前年比+0.9%と、昨年 11 月のインフレ報告書における BOE 予想の同+1.2%を下回った。原油価格の軟調が続いていることに加え、大手ガス会社がガス料金の値下げを発表するなど、エネルギー関連品目における価格下押し圧力は続く予想され、インフレ率は今後も低水準で推移する公算が大きい。BOE では、インフレ率は 2017 年まで目標の 2.0%を下回って推移すると予想している。</p> <p>市場金利 (12月～)：12月の長期金利 (10年物国債利回り) は1.89%で始まった。世界経済や英経済の先行き見通しが弱まるなか、利回りはほぼ一貫して低下した。今年に入ってから原油価格下落を受けたインフレ見通しの下方修正などから、利回りの低下ペースが加速し、1月14日には過去最低水準となる1.51%まで低下した。</p> <p>為替相場 (12月～)：ポンドの対ドル相場は12月に1ポンド=1.57ドルで始まった。2008年以来の高水準となった昨年7月以降、米景気の回復の勢いが強まる一方、欧州景気の低迷で英景気の見通しが弱まるなか、11月中旬までにポンドは対ドルで約9%下落した。以降は、ドルの上昇が行き過ぎとの見方もあってポンドは下げ止まった感があったが、2015年に入り、米金融当局の利上げ期待の高まり等を受けたドル買いで、ポンドは1月7日には2013年7月以来となる1.50ドル台まで下落した。</p>	
<p>金利動向</p>  <p>(%) 金利動向 (%)</p> <p>3ヵ月物ユーロポンド金利 レポ金利 10年物国債利回り(右軸)</p> <p>14/04 14/05 14/06 14/07 14/08 14/09 14/10 14/11 14/12 15/01</p> <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成 (年/月)</p>	<p>為替相場</p>  <p>(USD/GBP) 為替相場 (GBP/EUR)</p> <p>— ドル/ポンド — ポンド/ユーロ(右軸)</p> <p>14/04 14/05 14/06 14/07 14/08 14/09 14/10 14/11 14/12 15/01</p> <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成 (年/月)</p>

1. 年、四半期

	12	13	14	2013/Q4	2014/Q1	Q2	Q3	Q4
実質GDP成長率*	0.7	1.7	-	0.4 2.4	0.6 2.4	0.8 2.6	0.7 2.6	-
実質企業投資 (前期比、%) (前年比、%)	4.2	5.3	-	2.7 7.1	0.7 6.8	3.2 10.7	▲ 1.4 5.2	-
鉱工業生産*	▲ 2.7	▲ 0.5	-	0.3 1.9	0.4 2.3	0.2 1.8	0.2 1.2	-
製造業	▲ 1.3	▲ 2.0	7.1	0.6 1.3	1.1 2.7	0.5 2.8	0.3 2.5	-
信頼感指数*	▲ 6.7 ▲ 20.1	▲ 2.0 ▲ 10.1	7.1 4.4	7.9 ▲ 2.8	4.9 2.1	10.2 6.9	7.2 5.0	6.2 3.6
消費者								
小売売上数量*	0.8	1.4	-	0.1 2.9	0.7 3.5	1.6 4.1	0.3 2.7	-
失業者数 (失業保険へ入)* (千人) (前期比、%)	1,585.5 3.3	1,421.3 ▲ 10.4	-	1,270.5 ▲ 8.5	1,173.3 ▲ 7.6	1,078.4 ▲ 8.1	975.4 ▲ 9.5	-
失業率*								
失業保険基準(%)	4.8	4.2	-	3.7	3.7	3.2	2.9	-
ILO基準(%)	8.0	7.6	-	7.2	6.8	6.3	6.0	-
平均賃金収入* (前年比、%)	1.4	1.2	-	1.1	1.9	▲ 0.1	1.0	-
生産者価格								
工業品産出価格	2.1	1.3	-	▲ 0.4 0.9	0.3 0.6	0.1 0.4	▲ 0.3 ▲ 0.3	▲ 0.7 ▲ 0.6
原燃料投入価格	1.3	2.6	-	▲ 1.7 ▲ 0.6	▲ 1.3 ▲ 5.0	▲ 1.5 ▲ 4.6	▲ 3.2 ▲ 7.5	▲ 3.3 ▲ 9.0
小売物価								
消費者物価(CPI)	2.8	3.1	-	0.6 2.1	0.1 1.7	0.7 1.7	0.0 1.5	0.1 0.9
総合指数(RPI)	3.2	3.0	-	0.6 2.6	0.6 2.6	0.8 2.5	0.4 2.4	0.2 1.9
住宅ローン金利を除く(RPIX)	3.2	3.1	-	0.7 2.7	0.6 2.7	0.9 2.6	0.4 2.5	0.2 2.0
住宅価格 (HBOS, Halifax index)	▲ 0.6	4.6	8.8	2.1 5.7	2.3 8.5	2.3 9.5	2.7 9.4	- 8.4
輸出金額								
世界計(百万ポンド) (前年比、%)	305,142 ▲ 1.3	306,765 0.5	-	74,744 ▲ 1.2	73,374 ▲ 3.3	72,574 ▲ 8.8	71,387 ▲ 6.8	-
対EU28カ国(百万ポンド) (前年比、%)	153,181 ▲ 7.3	154,579 0.9	-	37,085 ▲ 2.6	36,812 ▲ 4.5	37,570 ▲ 2.8	36,392 ▲ 9.7	-
輸入金額								
世界計(百万ポンド) (前年比、%)	414,114 2.1	419,364 1.3	-	103,616 0.7	102,683 ▲ 0.2	102,682 ▲ 2.8	103,287 ▲ 3.7	-
対EU28カ国(百万ポンド) (前年比、%)	209,644 1.9	223,712 6.7	-	57,199 8.6	56,070 2.7	55,984 1.9	55,895 ▲ 1.8	-
貿易収支								
世界計(百万ポンド)	▲ 108,972	▲ 112,599	-	▲ 28,872	▲ 29,309	▲ 30,108	▲ 31,900	-
対EU28カ国(百万ポンド)	▲ 56,463	▲ 69,133	-	▲ 20,114	▲ 19,258	▲ 18,414	▲ 19,503	-
経常収支* (百万ポンド)	▲ 61,925	▲ 76,655	-	▲ 24,548	▲ 22,499	▲ 24,303	▲ 27,008	-
通貨供給量* M4: (前年比、%)	▲ 1.0	0.3	-	0.3	▲ 0.3	▲ 0.6	▲ 2.5	-
公共部門所要借入額(PSNCR) (百万ポンド)	17,677	16,284	-	16,284	15,963	14,962	17,435	-
外貨準備(金を除く) (10億米ドル)	88.6	92.4	-	92.4	97.3	99.4	94.4	-
政策金利(レポ金利) (%)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
ユーロ・ポンド金利(3ヵ月物) (%)	0.83	0.51	0.54	0.52	0.52	0.53	0.56	0.56
国債利回り(10年物) (%)	1.88	2.36	2.53	2.78	2.78	2.70	2.59	2.07
米ドル/ポンド為替相場	1.585	1.565	1.648	1.619	1.655	1.683	1.670	1.583
ポンド/ユーロ為替相場	0.811	0.849	0.806	0.841	0.828	0.815	0.794	0.789
円/ポンド為替相場	126.46	152.58	174.33	162.62	170.13	171.85	173.54	181.25
ポンド実効相場**	82.95	81.41	86.99	83.55	85.61	86.92	88.03	87.35

(注)特記なき限り上段は前期比、下段は前年比。外貨準備、通貨供給量については月末値、金利はレポ金利が期末値、その他が期中平均値。*印は季調値。失業率=失業者数/自営を含む就業者数。信頼感指数については、欧州委員会発表。** 2005年=100

1. 月次

		2014/05	6	7	8	9	10	11	12
実質GDP成長率*		データは四半期のみ							
		▲ 0.4	0.0	0.2	▲ 0.2	0.7	▲ 0.3	▲ 0.1	-
鉱工業生産*		1.8	0.8	1.3	1.4	0.8	1.0	1.1	-
	製造業	▲ 1.4	0.6	0.2	0.1	0.6	▲ 0.7	0.7	-
信頼感指数*	製造業	2.4	1.8	2.4	3.0	2.2	1.7	2.7	-
	消費者	9.2	12.3	7.4	9.2	4.9	5.4	6.3	6.8
小売売上数量*		0.0	0.2	0.1	0.3	▲ 0.3	1.0	1.6	-
		3.5	3.3	2.5	3.6	2.3	4.6	6.4	-
失業者数 (失業保険受給者)*	(千人)	1,080.6	1,041.1	1,003.7	970.5	952.1	927.0	900.1	-
	(前月比、%)	▲ 2.9	▲ 3.7	▲ 3.6	▲ 3.3	▲ 1.9	▲ 2.6	▲ 2.9	-
失業率*	(失業保険基準、%)	3.2	3.1	3.0	2.9	2.8	2.8	2.7	-
	(ILO基準、%)	6.5	6.3	6.2	6.0	6.0	6.0	-	-
平均賃金収入*	(前年比、%)	0.4	0.6	0.7	0.9	1.5	1.8	-	-
	(3ヵ月平均 前年同期比、%)	0.4	▲ 0.1	0.6	0.7	1.0	1.4	-	-
生産者価格	工業品産出価格	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.2	▲ 0.4	▲ 0.2	▲ 0.3
		0.5	0.3	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 0.5	▲ 0.6	▲ 0.6	▲ 0.8
	原燃料投入価格	0.2	▲ 1.0	▲ 1.7	▲ 1.0	▲ 0.8	▲ 1.2	▲ 0.7	▲ 2.4
		▲ 3.9	▲ 4.6	▲ 7.5	▲ 7.5	▲ 7.4	▲ 8.1	▲ 8.2	▲ 10.7
物価	消費者物価(CPI)	▲ 0.1	0.2	▲ 0.3	0.4	0.0	0.1	▲ 0.3	0.0
		1.5	1.9	1.6	1.5	1.2	1.3	1.0	0.5
	総合指数(RPI)	0.1	0.2	▲ 0.1	0.4	0.2	0.0	▲ 0.2	0.2
		2.4	2.6	2.5	2.4	2.3	2.3	2.0	1.6
住宅価格	住宅ローン金利を除く(RPIX)	0.1	0.2	▲ 0.1	0.4	0.2	0.0	▲ 0.2	0.2
		2.5	2.7	2.6	2.5	2.3	2.4	2.0	1.7
住宅価格 (HBOS, Halifax index)		4.0	▲ 0.4	1.2	0.0	0.4	▲ 0.4	0.5	0.9
		8.7	8.8	10.2	9.7	9.6	8.8	8.1	7.8
輸出金額	世界計 (百万ポンド)	24,448	23,779	24,068	23,194	24,125	24,487	24,384	-
	(前年比、%)	▲ 4.8	▲ 16.2	▲ 6.9	▲ 8.9	▲ 4.5	▲ 1.1	▲ 1.1	-
対EU28カ国 (百万ポンド)		12,616	12,334	12,263	12,034	12,095	12,326	12,112	-
	(前年比、%)	▲ 3.7	▲ 5.6	▲ 13.0	▲ 9.9	▲ 5.9	2.1	▲ 0.4	-
輸入金額	世界計 (百万ポンド)	34,608	34,033	35,271	33,385	34,631	34,329	33,232	-
	(前年比、%)	▲ 2.1	▲ 4.0	▲ 1.9	▲ 6.2	▲ 3.1	▲ 1.9	▲ 4.8	-
対EU28カ国 (百万ポンド)		18,725	18,781	18,868	18,486	18,541	18,663	18,311	-
	(前年比、%)	2.7	0.4	0.1	▲ 1.3	▲ 4.2	▲ 2.8	▲ 5.1	-
貿易収支	世界計 (百万ポンド)	▲ 10,160	▲ 10,254	▲ 11,203	▲ 10,191	▲ 10,506	▲ 9,842	▲ 8,848	-
	対EU28カ国 (百万ポンド)	▲ 6,109	▲ 6,447	▲ 6,605	▲ 6,452	▲ 6,446	▲ 6,337	▲ 6,199	-
経常収支* (百万ポンド)		データは四半期のみ							
通貨供給量*	M4: (前年比、%)	▲ 0.9	▲ 0.6	▲ 1.0	▲ 1.4	▲ 2.5	▲ 2.6	▲ 2.8	-
公共部門所要借入額(PSNCR)	(百万ポンド)	11,922.0	14,962.0	▲ 6,724	2,327	17,435	▲ 2,775	6,698	-
外貨準備(金を除く)	(10億米ドル)	97.2	99.4	98.8	97.9	94.4	95.7	97.9	-
政策金利(レポ金利)	(%)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
ユーロ・ボンド金利(3ヵ月物)	(%)	0.53	0.54	0.56	0.56	0.56	0.56	0.56	0.56
国債利回り(10年物)	(%)	2.63	2.82	2.75	2.54	2.49	2.22	2.13	1.87
米ドル/ポンド為替相場		1.685	1.691	1.707	1.670	1.630	1.607	1.578	1.563
ポンド/ユーロ為替相場		0.815	0.804	0.793	0.797	0.791	0.789	0.791	0.788
円/ポンド為替相場		171.42	172.53	173.69	171.93	174.89	173.59	183.53	186.75
ポンド実効相場**		86.88	87.71	88.76	87.77	87.52	87.37	87.04	87.58

(注) 特記なき限り上段は前月比、下段は前年比。

*印は季調値。失業率=失業者数/自営を含む就業者数。信頼感指数については欧州委員会発表。

** 2005年=100 外貨準備、通貨供給量については月末値、金利はレポ金利が月末値、その他は期中平均値。

(資料) 英国政府統計局 他

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。宜しくお願ひ申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。